

国際コンファレンス

「福島原発事故への対応と これからの原子力安全： 日本と欧州の視点からみて」

日時： 2011年12月22日（木曜日） 10:30-17:00（開場 10:00）

会場： 如水会館 3F 松風の間

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-1-1

主催： EUSI 東京 (EU Studies Institute in Tokyo)、一橋大学大学院法学研究科

共催：一橋大学

言語：英語 / 日本語 （同時通訳あり）

プログラム

10:00 – 10:30 開場・受付

10:30 – 10:35 開会の辞：山内 進（一橋大学学長）

10:35 – 10:45 開会の辞：ハンス・ディートマール・シュヴァイスグート氏（駐日 EU 大使）

10:45 – 11:15 基調講演：細野 豪志氏（原子力行政特命担当大臣）

「これからの原子力安全に対する我が国の取り組み（仮題）」

第1部：日本の視点から

11:20 – 11:50 報告Ⅰ：西脇 由弘氏（東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻客員教授）

「日本の原子力行政の課題：技術者の見地から」

11:50 – 12:20 報告Ⅱ：高橋 滋（一橋大学大学院国際・公共政策大学院院長）

「日本の原子力行政の課題：法律家の見地から」

12:20 – 12:40 討論

12:40 – 13:30 昼食

第2部：欧州の視点から

13:30 – 14:20 基調講演：パトリック・レイナー氏（AIDN/ INLA 事務局長）

「原子力安全を世界規模でどうガバナンスするか？：福島教訓」

14:20 – 15:00 報告：クリスチャン・レチュケ氏（弁護士・コンサルタント）

「福島事故に対する EU の反応」

15:00 – 15:20 討論

15:20 – 15:40 コーヒー・ブレイク

第3部：国際社会の視点から

15:40 – 16:00 報告Ⅰ：久住 涼子（フランス ENEN・

一橋大学大学院法学研究科博士後期課程）

「原子力安全条約について」

16:00 – 16:25 報告Ⅱ：秋山 信将（一橋大学大学院法学研究科准教授）

「原子力安全強化をめぐる政治：制度的制約をこえて」

16:25 – 16:45 討論

16:45 – 16:55 閉会の辞：川崎 恭治（一橋大学大学院法学研究科教授）

17:00 – 19:00 懇親会